

RCNP 研究会報告

- タイトル : Origin of Matter and Evolution of Galaxies
日程 : 2007年12月4日(火)-7日(金)
開催場所 : 北海道大学 理学研究院 5号館大講義室
参加人数 : 約120名
ホームページ : <http://nucl.sci.hokudai.ac.jp/~omeg07/>
世話人 : 藤本正行(北大)、加藤幾芳(北大)、久保野 茂(東大 CNS)、岸本忠史(阪大 RCNP)、梶野敏貴(国立天文台)、本林 透(理研)、宮武宇也(KEK)、青木和光(国立天文台)、野本憲一(東大)、小笹隆司(北大)、塚本尚義(北大)、渡辺重十(北大)、石川健三(北大)、大西 明(北大)

内容・成果 :

上記表題の研究会は宇宙核物理に関する国際シンポジウムとして開催された。この国際シンポジウムは1988年以来、2-3年おきに開催され、今回10回目あたり、これまで東京近辺で開催されてきたが、今回は東京から離れて札幌・北大で、副題: From the Dawn of Universe to the Formation of Solar System で述べられたところを中心テーマとして、開催された。そこでは、原子核物理を中心に惑星形成までをスコープに入れた広い分野を取り上げられ、北大宇宙物理グループを中心とした第一世代の超金属欠乏星にまつわる話題がこのシンポジウムの一つの特徴であった。また、北大で今年4月に核反応データ研究開発センターが新設され、世界の核データ活動についての話題も、もう一つの話題であった。シンポジウムで取り上げられたトピックスのリストを掲載します。

1. Big Bang Cosmology and Particle Astrophysics
2. Cosmic and Galactic Chemical Evolution and Structure Formation
3. Stellar and Meteoritic Abundances
4. Nucleosynthesis in Stars, Novae, and Supernovae
5. Nuclear Structure and Reactions for Astrophysics
6. Weak Interaction and Neutrino Physics
7. Explosion Mechanism of Supernovae
8. Neutron Star and High Density Matter
9. X-Ray, Gamma Ray, Cosmic Ray, and Meteorites
10. Nuclear Data for Astrophysics

RCNP の研究成果も取り上げられ、RCNP からのこの分野への一層の寄与が期待されていることが会議の随所で見られた。そのほかに、RCNP で実験している外国人研究者の参加や、会議のプロシーディングスの印刷費の補助など RCNP からのサポートが会議の成功に大きな寄与となった。